

＜イベント事後レポート＞

板野友美さん、丸山桂里奈さん登壇！

ハイアールの冷凍で生活をより豊かに実現する“凍活宣言”

ハイアール 冷凍冷蔵庫「CÖRISTA」「CÖRISM」新商品発表会開催

冷凍子ママの**冷凍活用術**に感動し、板野さん「全部手づくりホームパーティーを実現したい！」
丸山さん「生まれ変わるなら冷凍庫になりたい！」と容量に悩むお二人ならではの抱負を披露

ハイアール ジャパン セールス株式会社(本社：大阪市、代表取締役社長：杜 鏡国)は、『これからは冷凍基準。』のコンセプトのもと、2023年発売の470L 冷凍冷蔵庫「CÖRU」に続く大容量タイプの450L 冷凍冷蔵庫 JR-LX45A「CÖRISTA」と411L 冷凍冷蔵庫 JR-G41A「CÖRISM」を2025年12月17日より全国の家電量販店、ホームセンター、GMS、WEB 通販などで順次発売いたします。それに伴い、新商品発表会・事前体験会を2025年11月26日（水）に開催いたしました。

今回のイベントには、板野友美さん、丸山桂里奈さんに登場いただき、プライベートの冷凍事情などのお話をさせていただきました。また、冷凍生活アドバイザー（冷凍子ママさん）を交え“冷凍保存食”をご試食いただき、冷凍収納術や活用術を徹底解説していただきました。



左から原、乾修明、丸山さん、板野さん、冷凍子ママさん、松田

■ハイアールジャパンセールス株式会社執行役員副社長 乾修明による主催者代表



第一部の最初には、ハイアールジャパンセールス株式会社 執行役員 副社長 乾修明による主催者代表の挨拶がありました。乾副社長はハイアールの市場背景について説明を行った後、『ハイアールは白物総合家電メーカーを目指し、新規カテゴリーへの参入、既存カテゴリーの拡大を行っていきます。さらにここからは日本市場において、大容量、ハイエンドモデル商品の展開をしていき、生活者の多様なニーズにお応えしてまいります。そして今回「これからは、冷凍基準。」というコンセプトのもとで、2023年に発売した冷凍を主役にした冷蔵庫「CORU」に続き、二つの新商品を発表します。一つ目は、冷凍で鮮度を保つ冷蔵庫「CORISTA」、そしてもう一つは「冷凍を自由にする冷凍庫「CORISM」」を発表します』と紹介。その後、2つの新商品発売にあたり、ブランドアンバサダーの羽生結弦選手からのメッセージ動画も放映しました。

■ハイアールジャパンセールス株式会社 商品企画部 原による新商品紹介



続いて、ハイアールジャパンセールス株式会社 商品企画部 原より新商品含めた3商品について順番にご紹介いただきました。ステージ上には、今回新発売される「CORISTA」「CORISM」含めた3商品が展示されており、2種類のムービー動画なども活用しながら、それぞれのターゲットユーザーや商品特徴について紹介。

ターゲットについては、「CORISTA」は戸建てでもマンションでも二人の夫婦からファミリーまで幅広い層、また「CORISM」はお洒落に暮らしたいマンション住まいの夫婦を想定していると説明しました。

さらに、共通特徴としては『「ジャイアントフリーザー」と「鮮度キープ冷凍」です。

「鮮度キープ冷凍」は初搭載であり、室内の温度変化を抑えることで食品に霜がつきにくく、解凍時に発生するドリップを防ぐことで美味しく食事を楽しむことができます。また「ジャイアントフリーザー」は、年々冷凍食品のニーズが高まっていることや容量の少なさに関するお悩みを踏まえ、冷凍冷蔵庫容量の3割以上を冷凍に活用できるよう工夫。両機種の内には冷蔵室内を明るく照らす「シアター照明」と冷蔵室内の空気をキレイに保つ「キレイエアー」も搭載し、食品を美しく引き立て、除菌・脱臭を同時に行いながら冷蔵室の空気を循環させる豊富な機能がある』と説明いたしました。

また「CÖRISTA」の特徴は、2つのチルドルームをもち、新鮮さを保ちながら保存することが可能、かつ大容量の野菜室で取り出しやすさを追求しています。機能を兼ね備えたデザインで高品位なガラストップと放熱スペースゼロで背面にピッタリ設置できるのも特徴です。そして「CÖRISM」の特徴は、0～8℃まで自由に温度を調節できる変温室と、業界最薄の594mmでキッチンからはみ出ずにスタイリッシュに設置することができるデザイン性と説明。

『ハイアールは、今後も「これからは、冷凍基準。」というコンセプトのもと、引き続きお客様に喜んでいただける商品づくりを行っていきます。』と、商品企画の展望について締めくくられました。

■ハイアールジャパンセールス株式会社 マーケティング部長 松田による新商品プロモーション紹介



ハイアールジャパンセールス株式会社 マーケティング部長 松田より、新商品のプロモーションについてお話いただきました。今回こだわっているデザイン性、冷凍や品質に関するプロモーション動画を制作し今後の広告等でも展開。また、冷凍に関するお悩みを解決するだけでなく、形やデザイン、使い勝手にこだわり一般生活者の冷凍生活をもっと豊かにするべく「凍活」を掲げ、プロモーションを行っていくと発表。

また今後の「凍活」については、冷凍の達人である「冷凍子ママ」に冷凍生活アドバイザーとしてご協力いただき、これまで発信されてきた生活をもっと豊かにする冷凍技術を絡めたプロモーションを展開。今後は、WEB や SNS、店頭、夏に向けたキャンペーン計画をしていると説明しました。

そして、2023年より発売している freemo は『「冷蔵庫はもっと自由だ。PROJECT」のもと、ブランドアンバサダーの羽生結弦氏をはじめとしたコラボマグネットカバーを発売していくと発表。さらに、12月1日（月）～10日（水）の期間、二子玉川 蔦屋家電内 E-room②にて2つの新商品デザインをコーディネートした展示キットを設置。「一般生活者の方にも発売前に手に触れて体験していただきたい」と説明いただきました。

■板野友美さん、丸山桂里奈さん登壇！スポーツ選手の奥様としての「共通悩み」を発見



板野さん、丸山さんのお二人が普段、冷凍庫・冷蔵庫を使う上で困っていることをフリップで発表。板野さんは「毎日作ると工数がかかるので、冷凍食品や冷凍ストックを用意するものの、冷凍室が小さくて足りなくなってしまったので買い足した」と直近エピソードを披露。また「冷凍庫のせいで、ダイエットがうまくいかない!」と丸山さんはユニークな悩

みを告白。冷凍庫の中身をイラストでも描いていただいたところ「毎日の作り置きなどで冷凍庫の容量が不足しがち」という悩みも告白した板野さん。「お肉とかのストックが並んでいる中で“やりいか”が入っているところが、目の付け所が良い」丸山さんはすかさず、つつこみを入れていました。

一方、丸山さんは「自分がダイエットをするために鶏のささみなどヘルシーな食材を入れたいけど、自分や家族が大好きな餃子がたくさんあって邪魔して入らない。冷凍庫がパンパンすぎて開きづらくなってしまったり、奥に落ちてしまったりして大変」と悩みを告白しました。コストコでのまとめ買いも多い丸山さんは「餃子などがたくさんでストックする場所がないので、満足して買い物をするために爆食いしてしまって、胃に申し訳ない。」と語り、会場は笑いに包まれました。

■お二人の悩みは“容量” 冷凍子ママによるレクチャーでさらに豊かな冷凍生活を習得



続いて、冷凍のプロである「冷凍子ママ」が登場し、おすすめの冷凍活用術やハイアール冷凍庫の魅力について解説いただきました。

冷凍子ママは、冷凍のメリットについて説明し「食材が長持ちすることは大きなメリットであるものの、食材をきちんと保存できることは料理の手間を省いたり、買い物に行く時間を節約したりすることで、忙しい中で時間をより有効活用でき、とてもメリットが大きいと考えています」とお話をいただきました。

また、冷凍子ママ自身が冷凍を活用してマイナス20キロの減量に成功したといい「体に優しいレシピをストックし自分と家族の食事を分けることで、自分の食事管理に冷凍を活かしていた」と体験談を語りました。スポーツ選手を旦那にもつ板野さんは「旦那がスポーツ選手なので食事には気を遣っているが、家族との食事でも自分の分は作り置きしておくことで、無理なくダイエットができ、簡単に食事ができるということはメリットだ」と語りました。

今回の新商品について「容量は大きい方がいいが、どれも大容量なのが魅力であり、作っても入らないということがなく、意外とかさばる冷凍弁当も簡単に収納できるということが素敵だと思う。」とコメントいただきました。

その後、板野さん、丸山さんはステージ上にてハイアールの冷凍庫で凍らせた「ポキポキバナナ」と「冷凍豆腐のハンバーグ」を実食。

まずは「ポキポキバナナ」を実食した板野さんは「冷凍したと思えないほどおいしい！お風呂上がりにすごく良さそう！」と驚きの声を上げ、いつも娘がアイスクリームを食べたいというものの、毎日食べさせるのはためらっていましたが、これなら毎日食べさせても安心！と母としての一面も垣間見えました。続いて「冷凍豆腐のハンバーグ」を実食した丸山さんは「本当に冷凍の豆腐入っていますか？豆腐が肉なんじゃないかって勘違いするほどおいしい！半分以上が豆腐だと聞いてから食べても肉ですね。これだったら全部の豆腐を凍らせたいです。」とあまりの美味しさにとっても感動されていた様子でした。

冷凍子ママさんは「スーパーなどで購入される食品も全て簡単に冷凍させることができるため、もっと冷凍を身近に活用し、皆さんのお悩みを解決しながら、生活を豊かにできる」とコメント。容量の問題でストックを我慢することもなくなり、また鮮度も保たれるので、美味しくストック生活が叶う！と大絶賛しました。

これからは、
冷凍基準。Haier

冷凍で鮮度を保つ冷蔵庫

CORISTA



450L 冷凍冷蔵庫 JR-LX45A「CORISTA」
W/サンドホワイト・H/ブルーイッシュグレー

冷凍を自由にする冷蔵庫

CORISM



411L 冷凍冷蔵庫 JR-G41A「CORISM」
H/アイボリーグレー

■企画・発売の背景

ハイアールでは、ひとり暮らしや少人数・共働き世帯など、様々なライフスタイルに合わせた家電商品のラインナップを展開してまいりました。冷凍冷蔵庫・冷蔵庫においては、容量の拡大とともに利便性の高い機能を充実させることを目指し、470L から 40L まで幅広いラインナップを取り揃えております。

近年では共働き世帯の増加やまとめ買い需要の高まりにより、大容量化とさらなる冷凍機能の充実が求められております。また、キッチンのインテリア化が進む中で、家電商品でも家具のようにデザイン性が求められるなど、「大容量でありながら設置しやすい」「冷凍機能をより充実させたい」「機能性とデザイン性を両立したい」といったニーズが増えてまいりました。

この度発売する 450L 冷凍冷蔵庫 JR-LX45A「CORISTA」（以下、CORISTA）、411L 冷凍冷蔵庫 JR-G41A「CORISM」（以下、CORISM）は、『これからは冷凍基準。』のコンセプトのもと、機能性はもちろん、空間調和を叶えるデザイン性や優れた設置性までを追求。“冷凍で” 暮らしをより豊かにする冷凍冷蔵庫です。

これからは、
冷凍基準。

■まとめ買いに便利な「ジャイアントフリーザー」

CORISTAには139L、CORISMには151Lの「ジャイアントフリーザー」を装備。冷凍食品や作り置き、ストック食材をたっぷり収納でき、週末のまとめ買いにも最適です。



JR-LX45A(W) 「ジャイアントフリーザー」
※画像は JR-LX45A の合成イメージです。



JR-G41A(H) 「ジャイアントフリーザー」
※画像は JR-G41A の合成イメージです。

■冷蔵室内を明るく照らす「シアター照明」と冷蔵室内の空気をキレイに保つ「きれいエアー」搭載

背面いっぱい設置した「シアター照明」は冷蔵室内を広く明るく照らし、食品を美しく引き立てます。また、除菌・脱臭を同時に行いながら冷蔵室の空気を循環させる「きれいエアー」を搭載しています。



シアター照明

■霜が付きにくく美味しさをキープする「鮮度キープ冷凍」搭載

「鮮度キープ冷凍」は、冷気の出入り口に開閉式の蓋を設置することで、霜取り運転時に蓋を閉じて暖気の流入を遮断し、冷凍室内の温度変化を抑制。室内の温度変化を抑えることで霜付きを低減する冷凍技術です。霜付きを大幅に抑えることで解凍してもドリップが出にくく、食材の旨味と食感を長持ちさせます。



鮮度キープ冷凍非搭載での冷凍保存



鮮度キープ冷凍搭載での冷凍保存



冷凍中



解凍後



調理後イメージ

※試験条件/鮮度キープ冷凍が搭載された JR-CVM38A と当試験用に鮮度キープ冷凍機能を解除した同機を各 1 台用意し、JR-CVM38A の冷凍室を試験区、鮮度キープ冷凍機能を解除した同機の冷凍室を対照区としました。保存期間を 4 週間とし、保存前および保存後にそれぞれの項目を評価しました。ステーキ肉 300g とまぐろ赤身をパックのまま保存。

■日本で人気の 5 ドア設計を採用した「CÖRISTA」

真ん中に野菜室を配置した使いやすい日本仕様の 5 ドア。79L 「大容量真ん中野菜室」は、真ん中にあることで大きな物も取り出しやすく、身体への負担も軽減。底にある「おそうじ栓」から野菜くずなどを直接掃きだせるので、庫内を清潔に保てます。

定格内容積 450L の大容量で、幅 59.5cm の「スリムボディ」を実現。さらに背面の放熱スペースが要らない「背面壁びったり設計」で、限られた空間でも安心して設置いただけます。また、表情が異なる 2 色展開を採用。キッチンのイメージに合わせてお好みのカラーをお選びいただけます。奥行のある質感がシックで落ち着いた雰囲気のブルーイッシュグレーと、表面の滑らかな凹凸がニュアンスある華やかさを創出するサンドホワイト。どちらの色も心地よく上質な光沢感のガラストップ仕様といたしました。



大容量真ん中野菜室イメージ



JR-LX45A(W)使用イメージ



JR-LX45A(H)使用イメージ

■クラス最薄※¹スタイリッシュなグローバルデザインの「CÖRISM」

冷蔵庫室にシンメトリーのフレンチドアを採用した4ドアの CÖRISM には、温かみがあり落ち着いた印象のアイボリーカラーを採用しました。クラス最薄※¹奥行59.4cmの薄型デザインは、一般的なシステムキッチンとラインが揃いやすく、キッチンにスッキリとなじむ設置が可能です。冷蔵庫の扉は90°開くとバスケットが引き出せる「壁際フィット構造」になっています。



壁際フィット構造

450L 冷凍冷蔵庫 JR-LX45A「CÖRISTA」・411L 冷凍冷蔵庫 JR-G41A「CÖRISM」の概要は以下の通りです。

◆ 主な特長

- ① 霜をつけずに旨味と食感をキープする「鮮度キープ冷凍」
- ② まとめ買いに便利な「ジャイアントフリーザー」
- ③ 食品をきれいに见せる「シアター照明」
- ④ 冷蔵室内の空気をキレイに保つ「きれいいアア」
- ⑤ 使いやすい「大容量真ん中野菜室」(JR-LX45A)
- ⑥ 幅 59.5cm の「スリムボディ」と「背面壁ぴったり設計」(JR-LX45A)
- ⑦ 上質な「ガラストップドア」(JR-LX45A)
- ⑧ クラス最薄※¹奥行 59.4cm の「薄型デザイン」と「壁際フィット構造」(JR-G41A)

◆ 仕様【冷凍冷蔵庫(JR-LX45A)「CÖRISTA」・冷凍冷蔵庫(JR-G41A)「CÖRISM」】

商品種類	冷凍冷蔵庫	冷凍冷蔵庫
品番	JR-LX45A「CÖRISTA」	JR-G41A「CÖRISM」
カラー	W/サンドホワイト・H/ブルーイッシュグレー	H/アイボリーグレー
定格内容積(L)	450(冷蔵室 232・野菜室 79・冷凍室 139)	411(冷蔵室 260・冷凍室 80・冷凍室 71)
ドア数	5	4
価格	オープン価格※ ² ※店頭予想価格 220,000 円前後(税込)	オープン価格※ ² ※店頭予想価格 140,000 円前後(税込)
発売日	2025 年 12 月 17 日発売予定	2025 年 12 月 17 日発売予定
電源電圧(V)	単相 100	単相 100
定格消費電力量	電動機 70、電熱装置 130	電動機 140、電熱装置 165
年間消費電力量※ ³ (kWh/年)	265	271
冷却方式	ファン式	ファン式
フリーザー性能	冷凍室：フォースター	フォースター
	製氷室：スリースター	
霜取方式	自動	自動
運転音※ ⁴ (dB)	20	25
外形寸法(mm)	幅 595×奥行 715×高さ 1850	幅 700×奥行 594×高さ 1850
質量(kg)	105	100
省エネ基準達成率(%)	102(目標年度 2021 年度)	100(目標年度 2021 年度)

※¹ 家庭用冷凍冷蔵庫 401～450L クラスにおいて、2025 年 10 時月現在、当社調べ。

※² オープン価格の商品は希望小売価格を定めておりません。

※³ 年間消費電力量は、JIS C 9801-3(2015 年)で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。

※⁴ JIS C 9607(2015 年)規定の騒音試験による(安定運転時)。

ハイアールジャパンセールス株式会社について：

ハイアール ジャパン セールス株式会社は、ハイアールグループ(本社：中国山東省青島市)の日本における Haier ブランド商品の販売会社として、2002 年に設立。現在は AQUA ブランド商品を展開するアクア株式会社や、世界向け商品の企画開発を行うハイアールアジア R&D 株式会社と共に、ハイアールグループ日本地域(HP：<https://haier.co.jp/>)の日本法人です。

日本で展開する Haier ブランドは「新しいワクワクで、新しいくらしを。」をブランドメッセージに掲げ、世界から日本へ、日本中の人々に“驚きと発見”を届けてまいります。